

東京岩高会の活動



会報発送作業 R5.7

役員会 R5.6

支援者斎藤君代さん宅にて R5.11

2024年
第66号

令和6年7月21日 発行



同窓会総会東京支部長挨拶 R5.8

本部総会 R5.8

同窓会総会佐藤栗原市長と R5.8



栗原ハーフマラソン佐藤克彦副市長(S52卒)と R5.11

同窓会総会同級生と R5.8

東京栗駒会 R5.6



新春くりはら物産フェア池袋 R6.1

栗原4高会 R5.12

築館高校東京支部総会 R5.7

東京岩高会会報

第66号
令和6年7月21日

発行人

宮城県岩ヶ崎高等学校同窓会東京支部 東京岩高会 支部長 長沼和秋

印刷(有)第一コミュニケーション

総会開催案内

東京に岩高家族の
笑顔の花を咲かせよう

第68回
東京岩高会総会

令和6年11月23日(土曜日)
午前11時開会(KKRホテル東京)

詳細は2ページに掲載

「世界谷地登山道」
写真「東京岩高会ふるさと大使 土井祐之氏 S.54卒」

東京岩高会 年会費ご協力のお願い

皆様方から頂いた貴重な年会費が活動の支えになっております。昨年は98名の皆様方から浄財を賜りまして、真に有難うございます。本年も引き続き倍旧のご協力の程、宜しくお願い致します。

- (1) 年会費：3,000円
- (2) 振込期限：10月31日(木)までに同封の郵便振替用紙にて郵便局での振込みをお願い致します。

※お振込み手数料は、ご負担の程、お願い致します。

東京岩高会 支部長 長沼和秋
幹事一同



第68回 東京岩高会 総会 開催案内

平素より、当会の活動に対しまして、ご理解・ご協力を頂きまして御礼申し上げます。これも諸先輩方・ご関係の皆様方のお支えがあつてのことと存じます。改めて御礼申し上げます。

今年の総会は下記のとおり予定しておりますので、たくさんの方々のご参加をお待ちしております。

- (1) と き：令和6年11月23日(土) 11:00～14:00
- (2) と ころ：「KKR ホテル東京」
東京都千代田区大手町1-4-1
TEL 03-3287-2921
- (3) 会 費：8,000円
※学生で初めて参加される方はご招待(無料)
- (4) 出欠連絡：10月31日(木)までにご連絡を頂きます様お願い致します。
※連絡先
支部長：長沼和秋 090-5339-8141
幹事長：高橋 聖 080-5034-0179
- (5) ご 講 演：三浦修さん(昭56年卒)
国立国会図書館 調査及び立法考査局 議会官庁資料課 調査員
「国立国会図書館～デジコレでファミリー～」
- (6) 還 暦 の 会：今年は昭58年卒が対象であり、当日は当会よりお祝いを進呈致します。
お誘い合わせの上お越し下さいますようご案内申し上げます。

—今年度 総会概要—

会費およびキャンセルについては下記のとおりとさせていただきますのでご了承の程、お願い致します。

会 費

- ・会費は当日申し受け致しますが、年会費もご協力頂ける方は総会会費と併せてお振り込みをお願い致します。(3,000円+8,000円)
- ※振込み先「東京岩高会 00170-3-55498」
- ※振込み手数料はご負担願います。

キャンセル

出席から欠席に変更される場合は11月20日(水)までにご連絡下さい。これ以降のキャンセルは、会場手配の関係で会費を頂く場合がありますので、ご了承の程、お願い致します。それ以降のキャンセルの場合は、会場手配の関係でご返金できませんので、ご了承の程、お願い致します。

人との繋がりと絆は 変わることなく



長沼 和秋
同窓会東京支部長
(就任 平28/11)
昭53年卒
鷺沢出身

平素より、東京岩高会に対しまして、ご理解・ご協力を頂いておりまして御礼申し上げます。

第67回東京岩高会総会は、令和5年11月23日(木)蘇武徳行同窓会会長、村上孝志校長先生、豊嶋潤仙台支部長など60名のご出席を頂き開催致しました。会を開催する度々に後藤仁先輩(昭45)から、とても多くのスイツポテトを頂き、今回も全出席者にお配りさせて頂きました。特別プログラムは、同級生の高橋良哉さん(昭53/東邦大学教授)による「老化とアンチエイジング」。ポイントは一日8,000歩、日光浴、お風呂、適量のアルコール、程々のストレッチがアンチエイジングに繋がっていく。出席者にとつて一番気になるテーマで、改めて日々の取り組みの大切さを感じたご講

話でした。

12月には、8年前より開催されている栗原市4校高校懇親会(築高・迫桜高・岩高・一迫商高/今回欠席)が開催され29名が参加。母校の近況、高校時代の懐かしい話題そして出席者の現在の活動などを語り合う会として次年度以降も開催の予定です。

私の3本柱の一つ「ネパール」、昨年の10月4年ぶりとなるカトマンズマラソン出場のため訪ネ。1984年JICA海外協力隊で初めて「ネパール」の地を踏み、首都カトマンズはリキシヤ(前が自転車)で後ろが座席になっている人力車が走るのんびりとした街並みでしたが、今では自動車やバイクで溢れ、ヒマラヤ山脈のイメージからかけ離れてしまっています。

一見、活性化しているように見えるのですが、内陸国で産業らしい産業がないため(月収3万円程)、多くの若者が海外に仕事を求めアメリカ、オーストラリア、ヨーロッパ、日本、マレーシア、中国などに渡っており(500万人)、ネパールの国家予算の1/4が海外で働く方々からの送金で成り立っています。

現在日本には同国の方々が17万人滞在し、栗原市内にも50名を超えるネパールの若者が日本語学校での就学や農業

実習生として活動しており、「日本に行けば金持ちになれる」との夢を持ち、日本語学校に入るために借金(150万円)をしてまでもやってきています。日本

でバイトをすれば借金を返せると思っていますが、学生ビザでは週28時間しか働くことができず、借金が返せない現実と直面しネパールと日本の生活ペースの違いや、借金返済のことで頭が一杯で、バイト疲れで学校に行っても集中できず、夢が打ち砕かれてしまっているケースも散見されます。

高校時代陸上部だったことでネパールにマラソン指導で渡り、このことが縁でネパールとの繋がりが40年、カトマンズマラソン出場も5回目となり、当時選手だった友は、今ではオリンピック委員会や体育協会の要職を務め、マラソン大会を開催するなどネパールスポーツ界をリードしています。ネパールで旧友と会う度にヒマラヤパワーを頂き、その報いとして日本で夢を追い求めているネパールの若者への支えになればと思っております。

「同窓会」と「ネパール」、人との繋がりを益々感じつつ、この絆はこれまでと変わることなく、より強いものにしていかねばならない。今年も私の3本

—今年の総会会場— KKRホテル東京 (東京共済会館)

皇居を望む
素晴らしい眺望の
総会会場をご用意致しました。

- ◆アクセス
いずれも徒歩5分
・東京メトロ東西線「竹橋駅」3b 出口直結
・東京メトロ千代田線「大手町駅」C2 出口
・都営地下鉄「神保町駅」A9 出口
※JR東京駅からは徒歩20分



柱であります「同窓会」「マラソン」「ネパール」、しっかりと務めてまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

3 在日ネパール スペディ大使と (大使公邸) R6.5
カトマンズマラソン2023ゴール後 R5.10

40年前にマラソンを教えた知人たちと R5.10

感謝



蘇武 德行
岩高同窓会会長
(就任 令5/8)
昭47年卒
鷺沢出身

岩高東京支部の皆様におかれましては、お元気でお過ごしのことと思います。

私、昨年の本部総会において、会長に就任いたしました。宜しくお願いたします。10年前になりますが、岩高勤務時(第23代学長)は大変お世話になりました。当時、東京岩高総会に出席し、長きに渡り、会の運営に携わってこられた諸先輩方からの叱咤激励、母校の発展を期待する声に、更なる元気を頂いて帰路に着いたことを思い出します。誠に感謝しかありません。

就任し、昨年の東京岩高会には村上校長、副会長2名、常任幹事2名の6名で参加させて頂きました。長沼支部長の企画・配慮・熱意の素晴らしさに改めて敬意を表します。

故郷の思いを胸に秘めた同窓の方々との語らいは、時を忘れ貴重な会となりました。

岩ヶ崎高校の今



村上 孝志
第27代学長
(赴任 令4/4)

東京岩高会の皆様には、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃から本校の教育活動に御理解と御支援を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、本校は、今年で創立83年目を迎えております。令和4年度から始まった学級削減は今年完成年度を迎え、各学年が二クラスずつとなりました。同窓生の皆様にとっては、在籍していた時代と比べるととても寂しい規模となっております。大きな心配事になっていくことと思います。学級数の減少に伴って教員の数も減じられており、授業数の確保のため、遠隔授業として他校から授業の配信を受けたり、非常勤講師の任用に教育委員会から配慮をもらったりしながら、教育活動の維持に努めています。

その一方で、攻めの姿勢も忘れてはいません。昨年度、県の事業の一つ「地域進学重点校改革推進事業」の改革推進校に応募しました。この事業は、

また、本年2月2日に久々に開催された仙台支部総会には、長沼支部長、佐々木顧問には遠路ご出席頂き、ご支援頂きました。心より感謝申し上げます。

さらに、2月29日には今年度の卒業生の同窓会入会式に、長沼支部長の代理として、和久充幹事(昭47年卒)に出席して頂き、新規入会者36名に東京支部の紹介並びにご挨拶を頂きました。お忙しい中ありがとうございます。

そして、4月8日には、令和6年度の入学式が行われ、新入生16名が入学しました。



同窓会入会式 和久充幹事挨拶 R6.2

学校としても、入学希望者を増やす対策として、岩高魅力化プロジェクトチームを立ち上げ、令和7年度からの新しい制服の決定、さらに国際交流事業への取り組み、県教委の施策の指定校に選ばれる等、様々な形で生徒の募集活動に努めています。

同窓会としても、対策案を模索しながら、学校と連携して頑張っております。同窓生の皆様方には、今後ともさらなるご支援・ご協力を賜りますようお願いするとともに、皆様方の益々のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。ご挨拶いたします。



入学式 R6.4

協力を頂いており、とても心強い限りであります。

今後も、これまでの伝統や小規模・少人数での教育活動の実践で培った実績を生かしながら、魅力ある学校づくりを進めていきたいと思っておりますので、引き続き御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、東京岩高会の皆様のご健勝と御活躍をお祈り申し上げます。



同級生とのネットワークを広げて



豊嶋 潤
岩高同窓会
仙台支部長
(就任 令4/8)
昭60年卒
尾松出身

仙台支部長を拝命し、3年目となりました。豊嶋潤と申します。早速ですが、仙台支部の近況を報告させていただきます。昨年は、なんとかかんとか懇親会を開催することができました。来賓を除いて15人という少人数での開催とはなりましたが、参加者が昭和53年から平成25年の卒業生と幅広く、まだまだ参加者の増加が期待できる結果だと個人的には前向きに思っております。東京支部からも長沼支部長と佐々木顧問の出席をいただき、改めて感謝申し上げます。今年は、昨年の反省を踏まえ、早めの周知を図り参加者を募っていきたく思いますので、東京支部の皆さまにおかれましては、仙台近郊にいる同窓生などへのお声がけをよろしくお願いいたします。

私は、東京支部の総会に2年連続で参加させてもらっています。実は、私の中では東京支部の総会の日が、東京方面の同級生と会える日という位置づけ

けになっておりまして、密かに楽しみにしております。一昨年も昨年も、高校卒業以来では？と思うほど久しぶりの同級生に会うことができました。一昨年についた同級生は、幼馴染みでしたが、こんなにも呑兵衛になっていたとは想像もつきませんでしたし、昨年会った同級生はクラブトビール好きだったり、毎年度参加することによって、新たな発見とともに、私の同級生のネットワークが広がっているように思います。東京支部の皆さまに感謝です！ また、昨年参加した同級生は、妹さんとの参加でした。この姉妹は東京警沢会にも参加すると伺いました。このように人の輪が広がっていくといいことです。仙台支部でも、このような人の輪が広がっていく場になればと改めて思うところです。

東京支部の総会に出席して感じていることは、東京支部の方々の地元宮城への思いを伺うにつけ、現職の宮城県職員としての、岩ヶ崎高校を、栗原市



東京岩高会総会同級生と R5.11

を、宮城をもっと盛り上げていかなければと心が引き締まる感覚にもなります。

この4月から消防学校に勤務しておりまして、毎日訓練を行っている学生の礼儀正しい挨拶を受けて、日々背筋を伸ばしてまいりますので、ひよっとするとまた身長が伸びるのではと思っている今日この頃です。



仙台支部総会 R6.2

岩ヶ崎高校の近況



佐藤 和之
岩ヶ崎高校
総務部長
昭60年卒
岩ヶ崎出身

去る4月8日(月)の入学式で16名の新入生を迎え、2年生21名と3年生25名とあわせて全校生徒62名で、岩ヶ崎高校の令和6年度が始まりました。教職員も昨年度より3名少なくなりましたが、常勤職員は25名体制となりました。3年前までは32名と7名多かったため、授業の空き時間や放課後に職員室で仕事をしていた、見渡すと自分と数名の先生方がいるのみということが、今年は珍しくなくなりました。しかし、新任の事務室長と養護教諭のお二人は若く元気あふれる方々であるためか、職員は昨年以上に活気に満ちていると感じております。

保護者のみなさまも大変協力的で、4月27日(土)に行ったPTA総会での出席率はここ3年で最も高く、熱心な議論が行われ生徒への充実した教育を行うことにつながる実りある総会でした。

同時に行われた授業参観での感想

も「こどもたちが真剣に授業に取り組んでいて、とても良かったと思います。生徒は少ないですが、一人ひとり手厚い支援を受けられていると思います。」など、どれも好意的なものでした。

令和6年度の部活動は、運動部は8種目(野球・陸上・ソフトテニス・卓球・剣道・バレーボール・バスケットボール・バドミントン)、文化部が4分野(吹奏楽・軽音楽・科学・美術)となっており、生徒数や教職員数に比べて多くの部活動が設置されています。高校の選択にあたって、部活動を判断基準の一部とすることが多いということから、できるだけ多くの競技種目と分野を残しています。一方で、入部者のいない部活動もあるため、多くの部活動で部員不足が大きな悩みの種となっています。

学校行事でも生徒数が少ないことにより従来通り実施することが難しくなっており、生徒も教職員も知恵を絞りながら実施方法を検討しているところです。例えば球技大会は「クラスごとのチーム編成ではなく学年で1つのチームを編成し、クラスとして参加する種目を減らす」「会場も栗駒アリーナではなく今年は学校の体育館で行う」などです。芸術鑑賞は昨年度一迫商業高校と合同で開催し、今年度はこ

れに築館高校を加えて開催する計画となっております。その他岩高祭や強歩大会においてはPTAと同窓会からの御協力もお願いしている学校運営が欠かせないと感じています。

昨年度から多彩な分野でご活躍されている同窓生に、本校教育に関わっていただく取組が始まっています。地域おこし協力隊員として六日町の振興にあたられている三浦大樹さんが本校生徒の探究活動に、豊かな発想力を加え地域の人材と結びつける「地域コ―ディネーター」として、週2日ご勤務していただき今年度も継続されています。タレントの菅原美話さんにはコミュニケーションについての講話をお願いし、自分を表現することへのためらいを取り除き、勇気をもって表現するための心構えを全校生徒にお話し頂きました。

私自身岩ヶ崎高校で勤務する中で、少子高齢化と人口減少のスピードが速い勢いで進行しているということに危機感をつのらせることが多い一方で、これまでの教師生活では思うようになりなかつた「一人ひとりの生徒にしっかりと向き合う」ことが、岩ヶ崎高校では出来るため、教師としてのやりがい、充実を感じることも多くあります。このような教育環境を生かして、一人ひ

とりの生徒をよく理解しその力を伸ばしていくことが出来るように、そして職員が結束して岩高の魅力を高める取組を行って参りたいと考えております。東京岩高会のみなさまにもこれまでも増してのご理解ならびに御協力をお願い申し上げます。



強歩大会支援



菅原美話さんによる講話



7 芸術鑑賞会



岩ヶ崎高校の近況



安保 莉央
岩ヶ崎高校
生徒会 副会長

岩ヶ崎高校に入学して、早2年が経ちました。コロナウイルスによる制限も少しづつ緩和され、制限のない学校生活に戻ってきているように感じます。マスクを外す生徒も増え、顔をお互いに見ることができるようでコミュニケーションがより一層とれるようになり、岩ヶ崎高校全体が活気であふれています。

生徒会では4月上旬に行われた入学式に参加し、入学する1年生に校歌披露を行いました。初めて行われた取り組みでしたが、ピアノ伴奏と一緒に歌うことで体育館中に校歌が響き渡り、1年生を明るく歓迎することができました。また新入生オリエンテーションや対面式では1年生が楽しい学校生活を送ってもらえることができるよう話し合いを重ね、準備を行いました。これからの岩ヶ崎高校がさらに発展していくことに大きな喜びを感じます。さて、今年度の岩ヶ崎高校では地域

との結びつきを今まで以上に強くしていこうと取り組んでいます。授業の環境である総合的な探求の活動では、地域の課題や社会の問題に目を向け、それをもとにテーマ設定を行います。そこから地域と協力するアクションプランを計画して個人やグループで探求しています。2年生の探求活動の成果として、岩ヶ崎高校に月2回の火曜日に金成のパン屋さんでパンを販売しに来てくれることになりました。火曜日はパンを買う人で行列ができ、日々の学校生活にまた新たな楽しみが増えました。それ以外にも生徒一人一人が力を入れて自分たちの決めたテーマをもとに地域と協力して課題解決に取り組んでいます。

5・6月には各運動部の高校総体が行われます。3年生にとっては最後の大会となる大きな大会です。生徒数の減少に伴い、勉強や委員会などの両立という忙しい日々の中でも精一杯練習に取り組んでいる様子が見受けられます。近くで支えてくれている家族や先生方、仲間への感謝を忘れず、部活動でしか得ることのできないものを体感できるよう高校総体に向けて練習を継続していきたいです。

最後に、生徒数の減少が課題となっている岩ヶ崎高校ではありますが、

日々私たちにできることを探し、話し合いを重ね、より良い学校生活が送れるよう一人一人が目の前のことに一生懸命取り組んでいます。これからも岩

ヶ崎高校でしか学べないこと、できないことを全力で取り組んでいきたいと思えます。



第67回東京岩高会総会開催される



第67回東京岩高会総会は、令和5年11月23日(木)午前11時、皇居を見渡せるKKRホテル東京にて開催され、同窓生と来賓総勢60名の出席を頂きました。

コロナ禍が終わり、以前のような総会となり、近隣の高校より築館高校、迫桜高校からも関係者のご出席を頂きました。

総会は高橋聖幹事長(昭52)の司会進行で始まりました。

開会の辞は加藤旭孝幹事(昭36)による開会宣言が行なわれ、支部長の長沼の挨拶で総会の幕を開きました。本部同窓会からは8月に新たに就任された蘇武徳行会長をはじめ7名の役員、仙台支部からは豊嶋潤支部長(昭60)、最ご高齢は吉野玲子先輩(昭28/89歳)も出席されている旨、報告がありました。

来賓の挨拶として、蘇武徳行会長、村上孝志校長先生から故郷及び本校の近況報告があり、同窓会本部より助成金の授与が行われました。

■本部・本校

- 会長 蘇武徳行様(23代校長)
- 校長 村上孝志様
- 副会長 菅原浩紀様
- 副会長 大江洋樹様
- 常任幹事 菅原茂樹様
- 常任幹事 阿部庸様
- 仙台支部
- 支部長 豊嶋潤様
- 笠原すみえ様(川政)
- 迫桜同窓会東京支部
- 支部長 亀山晶子様
- 事務局長 阿部武寿様
- 築館高校同窓会東京支部
- 副支部長 玉井順一様

幹事

- 千田英雄様(東京巖沢会々長)
- 東京栗駒会
- 会長 伊藤税様(昭44)
- 東京岩高会ふるさと大使
- 土井祐之様(常任幹事)
- くりこま高原ファーム
- 取締役会長 加藤洋様

今回の総会においても、後藤仁様(昭45)から、「厚意でも多くのお手を頂き、出席者に配られました。議事進行は浅野広巳幹事(昭46)が議長に選出された後、浅野和優幹事(昭48)から活動報告・会計報告並びに鎌田正聰会計監査(昭35)から監査報告が行われました。引き続き次年度の計画案・予算案の発表があり承認されました。

今年の特別プログラムは、高橋良哉さん(昭53卒/東邦大学薬学部教授)による「老化とアンチエイジング」についての講演でおこなわれ、出席者一同一番気になるテーマなので、真剣に聞き入っていました。

引き続き、菅原一顧問(昭31)による乾杯で懇談が始まりました。

主席者からのスピーチ及び長寿お祝いとして、古希70歳(昭47)、喜寿77歳(昭40)、傘寿80歳(昭37)を迎えられた方に、無病息災・長寿祈願として、巣鴨とげぬき地藏尊・高岩寺のお札が贈られました。

そして、コロナ禍が明け、待ちに待っていた山本信子さん(昭46)による校歌と応援のフレーズが行われ、閉会の辞は鎌田正聰会計監査(昭35)が行い、閉会となりました。

(記 長沼和秋)

学童疎開をした岩ヶ崎は 第2の故郷



加賀 陽子
東京都足立区在住

私が加賀陽子さんと初めてお会いしたのは10年程前の東京栗駒会で、高三会としてお越しになられておりました(東京高井戸第三小学校出身の「高三」の会)。その時初めて太平洋戦争中旧岩ヶ崎町に、学童疎開されたことを知り、今回ご本人にお会いし当時の事をお伺いいたしました。

(インタビューー長沼和秋 佐々木くに子)

■学童疎開されたのはいつですか？

私が小学校6年生の時(12歳)で、学校へ申し込んで集団疎開することになり、昭和19年(1944年)9月4日、学校に生徒が集められ上野駅に向かいました。岩ヶ崎のことは何も知らされていなかったため夜行列車に乗りしんと不安で一杯の中、小牛田駅で乗換ええ石越駅に着き、やつのことで岩ヶ崎に着き岩ヶ崎小学校に案内され、皆様がやさしく出迎えて下さり、安心致しました。

くれて、お土産で飴を頂きました。年が10歳以上も違うのに、私たちのことを妹のように思ってくれて、「お兄さんが帰ってきた」と、いつも大喜びでした。



後列:沼倉館のお兄さん(学生服)
前列:加賀さん(右から2番目)

■嫌だなと思ったことはありませんでしたか？

皆さん良くしてくれて、食事也十分すぎるもので、不満は一切ありませんでした。一つだけ言うなら、シラミです。シラミで下痢をしたり発熱する人もいましたが、寮母さんと呼ばれDDTの散布が時々あり、どこでもやっていることなので、苦に思うことはありませんでした。

■疎開はいつまでなされたのですか？

このまま岩ヶ崎に居たくて、小学校を卒業した後は若柳にある女学校に行くつもりでいたのですが、6年生は東京に戻らなければならなくなり、1945年(昭和20年)3月9日上野駅に着いた翌日、3月10日の東京大空襲が待ち構えていました。行く先々で焼け出され、毎日が不安の連続でした。やっと8月15日に終戦をむかえ、これだ助かったと思ったのもつかの間、戦争もたらした影響は大きく、家を失い食料や生活物資不足で生活が困窮しました。

■疎開は学校の生徒全員が行ったのですか？

高井戸第三小学校からは4回行われ、私たちの時は、小学校3年生から小学校6年生、第1次として134名が、その後第4次まで行われました。全生徒が疎開したのではなく、疎開は無償ではなく有償だったということとを後に母から知らされました。当時のお金で1,000円払ったとのことで、滞在費は全生徒一律で、費用を工面できず東京に残らざるを得ない友達もいました。

※1944年(昭和19年)6月、アメリカの爆撃機による空襲目標にされやすい都市部の学童(児童)を農村部へ移すことが決定され、東京から100万人近い生徒が集団・縁故疎開しているが3割が健康・家計の理由で残留。横浜、名古屋、大阪、北九州等、13都市が対象で、関東、名古屋、新潟、東北等が疎開先となり、学童100人に対して教師2人、食料4人をつけることになっていた。

■疎開先はどこでしたか？

私たち134名は、岩ヶ崎地区3か所に分けられ沼倉館、円鏡寺、金龍館。沼倉館は女子生徒、円鏡寺は男子生徒、金龍館は兄弟・姉妹がお世話になることになりました。沼倉館は1班8人の7班で編成され、先生と寮母さんが一緒に生活を送りました。

■東京から持っていくものは制限あったのですか？

身の回りの生活用品と勉強道具だけ、寝具は疎開先で用意されていました。正月に東京の母から着物を送ってもらったことがあります。食料を送ってもらうことが

■東京に戻った後も沼倉旅館のお父さん、お母さんとやり取りは続きましたか？

戦時下でも、私たちのことを我が子のように面倒をみてくれた沼倉館のお父さん、お母さんのことは忘れることはなくて、生きていくのがやっとなのに、手紙を送り続けました。

日本髪結いの写真は19歳の時で、1951年(昭和26年)1月15日「やっと平和になり、生活も落ち着いてきました」と、沼倉館のお父さん、お母さんに送りました。



19歳の加賀さん

■岩ヶ崎との交流が続くのですか？

岩ヶ崎に疎開し地元の方にやさしくして頂いたことが心の支えになり、沼倉館のお父さん、お母さんが他界された時も一人で岩ヶ崎に向き、お悔やみに参りました。月日がたっても岩ヶ崎の方々の人柄と優しさが忘れられず、同級生とバス2台で東京から何度か伺いました。終戦50年に当たる1995(平成7)年、集団疎開50周年記念行事が栗駒町で行われ、館山公園に記念碑「わが故郷栗駒」を建立させて頂きました。

感謝の思いが一杯で、私が勤めていた会社では、宮城県からの集団就職の受入れも

は固く禁止されていました。

■日々の生活や勉強はどうなされたのですか？

岩ヶ崎小学校に通いました。教えるのは、一緒に疎開してきた高井戸第三小学校の先生で、勉強も遊びも疎開してきた児童が中心だったので、地元の子供たちとの交流はあまりありませんでした。

■学童疎開はひもじさと寂しさとの闘いとも同うのですが

学童疎開するには、生徒が同じ額の費用を収めてのことなのですが、疎開した場所によっては、食事の面対応の面が異なっていました。

お世話になった沼倉館では、お米はもちろんのこと、お魚、たらこ、時にはお赤飯があったりして、おやつにお団子もありました。その当時では珍しいバターがご飯の上であり、そこにお醤油をたらしても美味でした。50名を超える生徒分をご用意して頂いていたのですから、ここだけは、ひもじい思いをすることは、まったくありませんでした。

私たちが寂しくしていないかと地元の方が毎日のように慰問に来て下さり、山への散策に連れて行って下さり、授業が終われば軽部川で水遊びや洗濯をしました。

■沼倉館のお兄さん

岩手の医学部で学んでいる沼倉館のお兄さんが帰ってくるごとに、私たちと遊んで

積極的に行いました。

■人生の結びつきについて

太平洋戦争がなければ岩ヶ崎に行くこともなかったし岩ヶ崎や栗原の皆さんと出会うことがなかったと思うと、人生ってなにかしら結び付けて下さることがあり、苦しみの後は楽しみがあるあると、言うことを実感しました。

高井戸第三小学校と栗駒との交流は？

高井戸第三小学校の子どもたちが岩ヶ崎に学童疎開した縁で、栗駒と高井戸第三小学校は1987(昭和62)年、「栗駒杉並チッコ交流会」が発足、同小学校の子供たちが旧栗駒町の招きで訪問、その後栗駒町の児童が杉並を訪れ、東京栗駒会の協力で毎年交代で相互訪問が行われました。

学童疎開

栗原地区の学童疎開は、栗駒地区以外に築館、金成、佐沼、石森など、多くの子供たちが宮城県北で疎開生活を送った。

お話を伺って

岩ヶ崎への学童疎開のお話を伺ったのは2023年(令和5年)9月16日、加賀さんは御年90歳(昭和7年生まれ)、足腰に不自由はあるものの、当時の記憶が鮮明で時を感じさせず、「平和が一番」「感謝」よくして頂いた「私の第2の故郷」という言葉が繰り返し語られていました。

銀座ライツ法律事務所

弁護士 鎌田 正 聡(昭35年卒 尾松出身)

事務所

〒104-0061 東京都中央区銀座3丁目10番9号 KEC 銀座ビル 6階

TEL 03-3546-0281 FAX 03-3546-0280

URL <https://www.ginza-rights.jp/index.html>

東京でふる里の心を活かす栗駒会

東京栗駒会

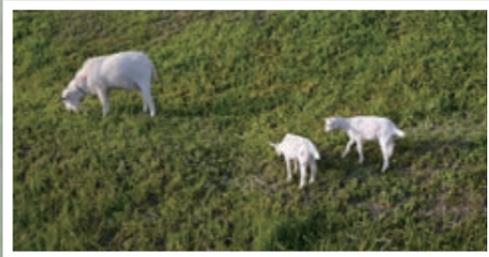
会長 伊藤 税(昭44年卒)

千葉県印旛郡栄町安食台2-27-28

TEL 090-4170-5596



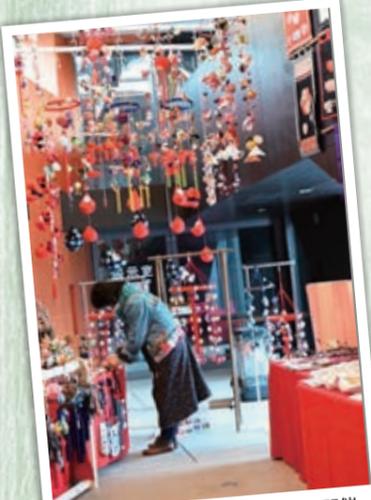
栗原の田園風景



近所のヤギの親子



栗駒山初冠雪、10月22日



久しぶりに、くりこま商家のひな祭り開催



カタクリの花



賑わう「くりこま夜市」

東京岩高会ふるさと大使 土井 祐之
さんのブログ「栗駒山の里だより」か
らご紹介頂きました。



土井 祐之
昭54年卒
栗原市鳥矢崎在住

「栗駒山の里だより」
ワールド



菜の花と栗駒山



栗駒山と桜を見ながらパークゴルフを楽しむ賢沢



やまゆり、増え続けるイノシシに球根を食べられ、
少なくなってきました



くりこま夜市の路上ライブ



山車まつり盛況



田植えを終えたばかりの田んぼ



猛暑の夏、雷雨が去った後



内沼の渡り鳥たち



「みんなであわせになるまつり」もいつもの賑わいです



ねじりほんによと秋の空



世界谷地のニッコウキスゲを見に来ました



新イベント、くりこま古本市



山開き前の栗駒山山頂



「インドカレーグラス」さんオープン



山車まつり夜間巡行



有壁の酒「晩水」辛口がうまいね～



生ワカメのしゃぶしゃぶ、シャキシャキと海の香りが美味しい



タラップとヨモギとウドの天ぷら、春の味



この冬石油ストーブ初点灯10月21日



いただきもの高級魚サンマを刺身にしました。
美味い!

鶴ヶ鮎 駒ゆべし 季節の和菓子



岡本老舗

宮城県栗原市栗駒岩ヶ崎六日町 38

☎ (FAX) 0228 (45) 1052

代表：岡本 浩一 昭53年卒 岩ヶ崎出身



「みやぎの環境にやさしい農産物」認証

くりこま高原米

栗駒山の清流で育まれ 食味最高

農業生産法人 有限会社くりこま高原ファーム

〒989-5341 宮城県栗原市栗駒稲屋敷大尻 6 番地

TEL0228-45-2893 FAX0228-45-5425

卒業生：S47加藤洋、S52岩淵功、S53五十嵐功、S55五十嵐晃、S58工藤勝枝、H9穂川亮、H19山田佳 URL <https://kougenfarm.jp/>



不動産のことならセイトグループへご相談ください。

～不動産の総合窓口～

「目指すのはマーベラスな家づくり、街づくり」をモットーに、
 私たちは住まう方にとって、
 大切なお住まいが長く、安全に、安らぎの空間となるような
 お手伝いを心掛けております。

また、ご資産物件のご紹介、お手持ちの賃貸物件の管理もお任せください。



JR 中央線国分寺駅南口徒歩3分



株式会社 西都建物

〒185-0021

東京都国分寺市南町 3-22-11

TEL:042-300-2111

HPはこちらです→



株式会社 マレード

注文住宅・建売住宅



株式会社 ムサシホームズ

賃貸管理・不動産売買



株式会社 セイトリフォームサービス

メンテナンス・リフォーム

(株)マレード店長 佐々木 哲夫 (昭49卒・鶯沢出身)

キャプリス『Caprice』

キャプリスは、10年程前に宮本洋子さん(昭42年卒)が八丁堀
 に開いたお店で、シェフは息子さんの勝徳さん。メニューは洋食創
 作料理、昼のランチプレートから、夜は単品だけでなくコース料理
 まで楽しめます。



東京都中央区八丁堀2-10-3
 03-3553-5388

最寄駅:
 東京メトロ 八丁堀駅5分
 JR東京駅20分

営業時間:
 月～金曜日 11:30～14:00
 17:30～22:00
 土曜日 17:30～22:00
 定休日:日曜日・祝日

令和5年度(令和4年11月1日～令和5年10月31日)

年会費ご協力者

令和6年5月1日現在

No	号	年	氏名
1			賛助 齋藤 君代
2			宮城 飯田 伸雄
3			宮城 飯田 正量
4			宮城 芳賀 康夫
5			宮城 葛岡 重利
6			宮城 後藤 仁
7			宮城 佐藤 澄隆
8			宮城 渋谷 力
9			宮城 菅原 隆文
10			宮城 笠原 すみえ
11	S	26	佐竹 章
12	S	28	伊藤 末治郎
13	S	28	及川 博子
14	S	28	吉野 玲子
15	S	29	藤代 實
16	S	30	高橋 次夫
17	S	31	菅原 一
18	S	32	鈴木 俊之
19	S	32	高橋 東三
20	S	33	木名瀬五百子
21	S	34	千葉 辰夫
22	S	34	永澤 たつ子
23	S	35	鎌田 正聰
24	S	35	小柳 典子
25	S	35	菅原 幸二

No	号	年	氏名
26	S	35	須田 和恵
27	S	36	小畑 丈夫
28	S	36	加藤 旭孝
29	S	36	久保田 信子
30	S	36	菅原 富夫
31	S	36	穂積 宏哉
32	S	37	伊藤 克侑
33	S	37	熊谷 栄子
34	S	37	佐々木くに子
35	S	37	真保 清美
36	S	37	菅原 三千男
37	S	37	鈴木 晃
38	S	37	須田 陽子
39	S	37	津田 久子
40	S	37	安川 ムチ子
41	S	37	結城 家寿子
42	S	37	吉川 とみ子
43	S	38	岩永 壽子
44	S	38	只野 和夫
45	S	39	佐々木 元子
46	S	39	佐藤 次夫
47	S	40	桑原 盛一
48	S	40	小山 ハルミ
49	S	40	三浦 幸喜
50	S	41	鈴木 仙治郎

No	号	年	氏名
51	S	41	蘇武 巖
52	S	42	小川 晶平
53	S	42	河合 礼子
54	S	42	佐藤 美喜子
55	S	42	宮本 洋子
56	S	44	伊藤 税
57	S	44	佐々木 敏行
58	S	45	伊藤 初雄
59	S	46	浅野 弘巳
60	S	46	伊藤 光男
61	S	46	菅原 博子
62	S	46	菅原 正雄
63	S	46	千葉 孝雄
64	S	46	守屋 みさ子
65	S	46	山本 信子
66	S	47	太田 洋子
67	S	47	加藤 洋
68	S	47	川村 信子
69	S	47	菅原 修悦
70	S	47	和久 充
71	S	48	浅野 和優
72	S	48	石野 久恵
73	S	48	飯村 郁恵
74	S	48	梶本 啓
75	S	48	千葉 繁典

No	号	年	氏名
76	S	48	本田 みき子
77	S	48	密島 眞夫
78	S	49	佐々木 哲夫
79	S	49	菅原 由美子
80	S	49	畠山 純子
81	S	49	渡部 由利子
82	S	50	熊谷 純一
83	S	50	菅原 俊雄
84	S	51	古舘 芳子
85	S	52	菅原 節子
86	S	52	高橋 聖
87	S	52	星 光男
88	S	53	高橋 良哉
89	S	53	富田 早苗
90	S	53	長沼 和秋
91	S	53	山口 真貴
92	S	54	佐藤 隆仁
93	S	55	菅原 広巳
94	S	55	二本木 栄子
95	S	56	阿部 豊
96	S	56	三浦 修
97	S	60	小林 玲子
98	H	元	武内 里恵

敬称略

東京岩高会は、皆様方のご理解・ご支援のもとで支えられております。
 これからもよろしくお願い申し上げます。

東京岩高会役員 一同

会計報告

(令和4年11月1日から令和5年10月31日)

単位:円

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前期繰越金	442,325	総会費用	479,969
年会費(105名)	383,000	総会二次会費用	47,520
広告料(4名)	40,000	新年会費用	55,000
総会会費(57名)	458,000	慶弔費	1,320
総会ご祝儀(15名)	130,000	事務用品費	3,539
総会二次会費	58,000	旅費交通費	21,120
新年会費(11名)	55,000	会議費	21,110
助成金	100,000	通信運搬費	91,322
利子	5	会報費	390,719
		年会費手数料	20,313
		手数料	1,460
		本部等総会参加費	57,000
		次年度繰越金	475,938
計	1,666,330	計	1,666,330

会計予算案

(令和5年11月1日から令和6年10月31日)

単位:円

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前期繰越金	475,938	総会費用	450,000
助成金 本部	100,000	総会二次会費用	50,000
年会費	400,000	新年会費用	60,000
広告料	50,000	会報費	400,000
総会会費	450,000	通信運搬費	100,000
総会二次会費	60,000	慶弔費	5,000
新年会費	60,000	事務用品費	5,000
		会議費	30,000
		本部等総会参加費	60,000
		年会費手数料	20,000
		手数料	2,000
		予備費	413,938
計	1,595,938	計	1,595,938



オフィスのライフラインを 賢くサポート

理工事務機株式会社

会 長 亀 井 榮 利 (昭26年卒)
(旧姓・門伝 鶯沢町出身)
代表取締役 亀 井 賢太郎

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-44-2 神田TNKビル
TEL. 03-3293-8955 FAX. 03-3292-0140

<https://www.ricohjimuki.co.jp>



こちらは50年前に全て手作業で制作したものです。現在ではコンピューター処理で制作しただれが作ってもほぼ同じ物ができるようになりました。何年も修行をして、どこよりも良い製品を作ろうと切磋琢磨していた時代が懐かしいです。

吉野 玲子(昭28年卒)

サインボード・サインシステム

 株式会社アルテ

会長 吉野 玲子 (岩ヶ崎)

〒116-0014

東京都荒川区東日暮里5丁目30番9-403

TEL 03(6806)5069

(2016年
大宮(植竹)工場新設)

